

# よかぜ

第31号

2021年（令和3年）

9月号 No.31

発行：中間市人権男女共同参画課

## 人権センターだより

「平和への最初の一步」

中間南小学校六年 佐多 美咲さん

二〇二〇年十月二十日、二十一日に、修学旅行で筑前町立大刀洗平和記念館を訪れました。この場所には、戦前に広大な「大刀洗飛行場」がありました。誕生したのは大正八年で、日本の陸軍が誇る西日本最大の航空基地だったそうです。この大刀洗飛行場は、米軍機により、激しい空襲があり、飛行場は、わずか二十六年でその姿を消してしまつたのでした。

ここ、大刀洗平和記念館で学んだことは、私にとって衝撃的なことばかりでした。一番おどろいたのは「特攻」という言葉でした。これは、爆弾を積んだ飛行機で、乗組員もろとも敵に体当たりする攻撃のことでした。生き残る可能性がほとんどなく、死を覚悟した戦法だったのです。これももし、自分だとしたら・・・自分の家族だったら・・・と考えると、とても恐ろしくて、言葉がでませんでした。

なぜ日本は「特攻」を始めたのでしょうか。それは、太平洋上の戦いになりました。太平洋上の戦いで敗戦が続き、日本軍はどんどん追い込まれました。



そして、日本は、方策としてついに「特攻」という非常手段へと突き進みました。なぜ、戦争を続けたのでしょうか。戦争のために多くの命が犠牲になることが想像できなかったのでしょうか。

大刀洗平和記念館には、特攻隊員の遺言や手紙なども展示されていました。そこには、両親への感謝や、家族への想いが書かれていました。これを読んだ時、本当にこんな時代があったのだと改めて実感しました。平和な現代を生きる私には、想像もできない覚悟だったことでしょう。

戦争は隊員以外にも多くの人々が犠牲になりました。たくさんのかげがえのない命が奪われたのです。戦争さえなければ、もっと長く生き、楽しい日々を送ることができていたはずなのです。二度とこんなことが起こってほしくないと私は強く思いました。

最後に、戦争を生み出さないために、自分に何ができるかを考えてみて下さい。大きな事から始めなくても、けんかの仲裁をするのも最初の一步になります。もしかしたら、明日、戦争が起こるかもしれません。過去の出来事とせず、学習していくことで、これから起こるかもしれない争いごとを、防ぐことのできる大人になれるのです。未来をあなたが変えることができるかもしれません。私たち一人一人が、平和を願い続けること、これも平和への最初の一步なのではないでしょうか。

※この作文は、令和元年度中に書かれた作品であり、

作文の内容と学年の表記は当時のものです。

【私たちが感じた人権

令和2年度小中学校人権作文より】

# 色で心を元気にするメンタルケアです。

## みなさん！癒されてみませんか



保健室は、病気やけがをしてくる子ばかりでなく、「つらいことがあった子」「元気がない子」「泣きたいことがある子」「疲れちゃった子」「けんかした子」「話し相手が欲しい子」が集まってくる場所です。子どもだけでなく誰にでもそんな場所があったら良いと思い、「HOT一息保健室」を開催しています。

「HOT一息保健室」では絵を描いたり、ぬりえをしたり、カラーボトルを選んだりしながらお話を聴かせていただいています。

カラーセラピーやアートセラピーは、自分では気づけない感情と向き合うメンタルケアです。何か悩みがあったり、人生プランを立てたりするときに役立ちます。

親子、夫婦、友達と一緒にの相談もOKです。お気軽にお越しください。

「HOT一息保健室」は、毎月、第一・第三木曜日の13時30分から16時30分まで行っています。1日二組となっていますので、ご希望の方は人権センターにご予約ください。

カラー心理カウンセラー  
加藤奈緒美（元小学校養護教諭）

### カラーボトルを使ったセラピー



#### ◇なやみごと相談◇

なやみごとや困りごとについて、人権擁護委員（市内在住6名）が無料でご相談を受けます。

秘密は厳守されますので気軽にご相談ください。

（予約不要）

・10/13（水）

13:30~15:30

問合先）中間市人権センター 中間市岩瀬一丁目17-1

☎093-245-3511



#### ◇「子育て女性再就職支援出張面接相談」◇

子育てと仕事を両立したい女性の方を応援します。

※2日前までに予約が必要です

10/14（木）

10:00~12:00

予約問合先）子育て女性就職支援センター

☎093-533-6637

相談場所）中間市人権センター



中間市人権センター（ピンクの建物が目印です！！）

住所：中間市岩瀬一丁目17-1 ☎093-245-3511

